

## 木村亮太

枚方市議会議員

無所属

持続可能な社会保障制度を構築するには？  
給与制度に不都合が生じていないか？  
学力向上のためにはどうするべきか？

1984年4月生まれ

枚方小学校・バンコク日本人学校

枚方中学校・四條畷高校・大阪大学

ベンチャー企業を経て市議会議員1期目



私が170万枚で伝えたかったこと。  
市政報告を配布しながら信じていること。

「政策で選ぶ政治が実現すれば、  
枚方市はもっとよくなる」

連絡先 ☎ 070-5651-5832 E-mail: hirakata@kimura-ryota.net  
〒573-8666枚方市大垣内町2-1-20 枚方市役所4階 未来に責任・みんなの議員控室  
HP: <http://kimura-ryota.net> blog: <http://ameblo.jp/kimura-ryota> twitter ID: kimura\_ryota  
このチラシは市政調査を目的として発行しています。皆様のご意見をお聞かせください。

\*誤植がないように幾度の紙面校正を重ねておりますが、誤植、誤記載については予めご了承ください。

### すでに不都合が生じているように思えてならない、官民格差のある給与制度

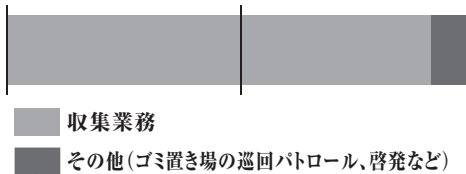
職務職責に応じた給与制度・民間との均衡がとれた給与制度の観点から度々取り上げています。市は「業務内容を精査し、給与制度上の職務・職責との整合について不都合が生じている事例があれば、一致できるような見直しを講じていく」という答弁を以前にされています。

今回、業務内容について、本当に職務職責に  
応じているのかについて、詳細を確認いた

しました。例えば、ごみ収集などに携わる清掃職員については右下のグラフのように大部分は収集業務です。また、その他の時間の収集以外の業務内容も、今後は(民間との給与格差のない給与制度の)新入職員も携わる可能性があります。やはり、業務内容と給与制度の間に既に不都合が生じているようにも思えます。しっかりと業務精査をし、適切な給与制度を適用すべきです。私は「公務員

すべてが安い給料で働くべきだ」とも思っていません。しかし、この部分については地方公務員法の民間との均衡、職務職責に応じた給与制度から特に乖離が生じています。引き続き粘り強く取り上げてまいります。

#### 1日の業務時間内訳



これらの業務も今後は「民間と均衡のとれた給与制度の職員」が携わる可能性が有る。そうなれば、これらの業務をすることが民間よりも高い給与制度になることの説明にはならない。

### 給与引き上げ、まだ早いのでは？

12月議会にて市長や議員などの特別職、一般職のボーナス等を引き上げる議案が出されました。私は反対をしましたが、賛成多数で可決されました。確かに、アベノミクスで株価が上がり、円安効果で業績が伸びるなど恩恵を受けた会社も一部にはあります。

しかし、それぞれの家庭にまで効果が出ているのでしょうか？そんな中、法的拘束力はないものの、人事院勧告という、いわゆる国からの通達での引き上げです。東日本大震災復興のための給与削減には消極的だったものの、「引き上げはすぐに」という姿勢には納得しかねます。

職種	枚方市職員	民間類似職種	民間との格差
清掃職員	¥6,286,731	¥3,980,600	1.58倍
学校給食員	¥5,852,359	¥3,593,200	1.63倍
用務員	¥6,044,175	¥2,809,400	2.15倍
自動車運転手	¥6,241,973	¥3,644,000	1.71倍

\*枚方市人事行政の運営等の状況の公表 平成25年より

## 学力の向上・教育の充実 ～教師が生徒と向き合う時間をつくるために～

未来を担う人材を育成するために。子供たちに確かな学力を身につけるため、社会で生き抜く力をつけるために。一人ひとりの生徒と向き合う教育体制を作ることが必要です。

### ■学力向上のためのサポーターの充実を

先日、全国学力・学習状況調査での結果、小学校、中学校の各教科・区分で、全国平均正答率を下回る項目が多く、また平成19年と比較して平均正答率が下降し、大阪府の重点対策自治体にも指定されました。このような背景も含めて、学力向上の提案をしました。

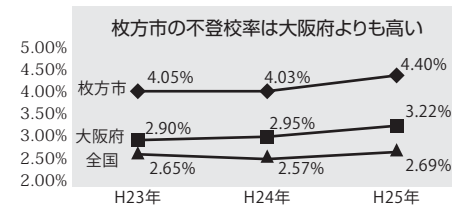
「まなびング」サポート事業という、各教科の時間等で子供の学習指導に対する支援を行う事業があります。これがあることで、小中学校における教育活動の様々な場面において、よりきめ細やかに児童・生徒をサポートできるとされています。

有効な事業ではあるものの、まだまだサポーターが不足している学校が多くあります。下記の表のように、他市と比較すると待遇が悪いです。お金が全てではないですが、サポーターを増やすために、待遇や募集方法(見せ方)を変えていくべきではないか?という提案をいたしました。

市町村名	報償費等
枚方市	500円/1回・2H以上
守口市	1000円/1H
寝屋川市	一般4000円/1回4H以上、学生2000円/1回・2H以上
大東市	1000～1500円/1回
門真市	無償
四條畷市	500円/1H
交野市	1000円/1H
豊中市	1000円/1H
京都市	1111円/1回

### ■不登校支援員の充実を

枚方市の不登校率は下記の表のように、全国平均よりも高い大阪府の不登校率と比べても高くなっております。一方で不登校支援員の配置人数については過去3年で、減少傾向です(29人→27人→22人)。不登校生徒数が増加している中、支援員を減らすのではなく、拡充をするべきと主張しております。



## 今後の「学校・教育」のありかた

決算特別委員会や、12月議会を通じて学力向上、教職員の負担軽減につながる事業についての質疑・提案をしました。個別の改善も必要ですが、生徒や学校を取り巻く環境は大きく変わってきています。少子化で、1校あたりの在籍生徒数も減っていきます。また、校舎の老朽化も進んでいます。先日文部科学省からも60年ぶりに小中学校の統廃合に関する手引きがまとめられました。教育、学校のあり方も変化していく中では、統廃合を進め小中一貫校を作り、新しく機能も充実した校舎で質の高い教育を提供するなど、ソフト、ハードともに抜本的な見直しが必要なのかもしれません。

## 介護予防・健康寿命の延伸 ～健やかな暮らしと持続可能な社会保障制度～

高齢化が進み、社会保障費が増大していく中で、一人ひとりの生活が充実するためにも、そして、市や国の財政の観点からも健康な人が多いことは非常に重要であると考えております。枚方市は『健康医療都市』を都市ブランドとして掲げております。「医療機関が充実しているから病気になっても大丈夫」はもちろんではありませんが、そもそも健康で病気にならない状態が大事であると私は考えています。その為には、介護予防にももっと力を入れるべきではあるのですが右の表のようにまだまだ他市と比べても参加者率が高いとは言えません。健康寿命の延伸のために多くの方が参加する仕掛けとして、

- 健康寿命を目標として施策を展開してはどうか?
- 介護予防事業の参加者率が高い他市の事例を参考にしてはどうか?という内容の質問をいたしました。

### 介護予防事業の参加者率が高い自治体

自治体	参加者数	65歳以上人口	参加率
枚方市	約13,800人	93,500人	約23%
茨木市	約21,000人	61,600人	約34%
羽曳野市	約12,600人	30,500人	約40%
阪南市	約11,400人	15,400人	約70%

※参加率が高い自治体では、いわゆる公民館的な施設で日時を固定して介護予防教室を実施しています。

## 議会(委員会)で一丸となって浸水対策について提案

毎年発生する浸水被害への対策を調査事項とし、所管事務調査を実施いたしました。約半年間をかけ、委員会での議論・視察を重ねました。12月議会で委員会報告書が完成しました。本当に徐々にですが、政策提案・課題解決のできる議会を目指して、議会改革を進めています。

### ■主な提言

- ・厳しい財政状況の中においても最大限の予算確保に努めること
- ・ゲリラ豪雨対策の地区指定を拡充すべき
- ・民間事業者と協力して、開発、宅地整備の際には 貯留機能も持たせること
- ・公共施設の貯留機能も高めること
- ・整備状況の「見える化」を進めること

## ICTを活用したまちづくり ～オープンデータでAEDの有効利用を～

オープンデータとは、行政が保有するデータを開放し、それらのデータをまちづくりなどに活かしていく取り組みです。進捗状況を確認すると、「公開に向けてデータの種類などを検討し、平成26年

度末を目処にまとめていく」とのことです。今後、市内のコンビニ106店舗にAEDを設置していく予定です。いざという時にAEDの有効活用ができるように、その位置データの公開も提案しました。